

会議録

会議名	第7回 宝達志水町小学校統合準備委員会
日時	令和4年12月21日(水) 午後7時00分～午後7時35分
会場	宝達志水町生涯学習センターさくらドーム21 2階 視聴覚室
出席者	<p>出席委員 21名 山下委員長 押水第一小学校：校長、教頭 宝達小学校：校長、教頭、PTA 会長、母親代表 相見小学校：校長(副委員長)、教頭、PTA 会長、副会長 樋川小学校：校長、PTA 副会長、母親代表 志雄小学校：校長(副委員長)、教頭、PTA 会長、副会長、母親代表 相見保育所保護者会代表、南部保育所保護者会代表、 中央保育所保護者会代表</p> <p>欠席委員 9名 押水第一小学校 PTA 会長、副会長、母親代表、宝達小学校 PTA 副会長、 相見小学校 PTA 母親代表、樋川小学校教頭、PTA 会長、 北大海第一保育所保護者会代表</p> <p>事務局 5名 細江教育長、学校教育課小学校統合準備室 安達課長兼室長、 岡本担当課長、小学校統合準備室 秋田次長、中橋主幹</p>
次第	<p>1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 (1) 校章デザイン最優秀作品の報告 (2) その他 4 閉会</p>
会議内容	<p>1 委員長あいさつ 校章が決まった。これから大事に使っていきたい。 今後、校歌とかが出てくるが、皆さまのご協力で、いいものにしていただきたい。</p> <p>(1) 校章デザイン最優秀賞作品の報告 ～ 資料説明 ～ (学校教育課小学校統合準備室次長) 資料に記載の内容の他、選考作品の先行登録商標調査を行い、他社の商標権を侵害しないことを確認できたことから、選考作品を統合小学校の校</p>

章として決定する旨を報告。

～ 質疑 ～

(委員1)

なぜ、選考基準を設けたのか部会では説明がなかった。

そして、なぜ、後出したのか。

選考基準を後出しにするようなことは、やめて欲しい。

そして、何故、後出しにしたかを教えて欲しい。

(学校教育課長兼小学校統合準備室長)

当初の資料に載っていないければ、後出しということになり、その場合は、やり方があまり良くなかったと思う。資料に含まれているかは確認させて欲しい。

(委員2)

押水小は漢字で、志桜小は英語の標記になっている。アンバランスかと思う。

(委員3)

最終選考の委員は教えてもらえないのか。

(学校教育課長兼小学校統合準備室長)

最終選考の委員は、町長、教育長、準備委員会の委員長、小学校長。

(委員3)

選考の時に委員の意見は反映されているか。

(委員長)

多くの作品の中から1個だけ選ぶ。校名と違って、同じものがないのが普通。その中で、誰が責任を持って決めたというところに疑問を持たれるとどうしようもない。

(委員1)

自分たちが1次選考から決めていくべきだったのではないか。

(学校教育課長兼小学校統合準備室長)

募集時に選考基準は載せていない。1次選考にあたり、その学校にふさわしいものを選んでいただくため、いくつかの項目を目安として設けたもの。

(委員1)

校長は選考基準を見て絞っているのでは。

あと、1次選考も、2次選考も、最終選考も校長が入っている。校長のウエイトが大きいのではないか。

委員として来たが、参加しているという思いが小さい。

(委員長)

順番に選考過程を経て決めてきた。私は最後に入ったが途中の経緯は聞いていない。会議とはそういうもの。

(委員3)

参加している感じがしない。気合いが入っていて、1次選考から加わりたかった。10から5に絞る時にしかコミットできなかった。悔しかったということ。せっかく夜来ているのに。

(委員長)

そういったご意見は、受け止めていかないといけない。

通学、PTAと大事な部分が残っている。いいものにして欲しい。

多くの作品の中から選ぶのは大変。

1次、2次、最終と議論をしているので、私はそれを尊重したい。

(2) その他

(委員長)

漏れている。足りないということがあれば、これからの会議で意見をいただきたい。決まった内容に反対では議論にならないので、その前に議論をして欲しい。

(委員4)

2次選考で出た意見を反映されていないと言っているのではないか。

自分は通学・PTA部会だが、1次選考でイメージ操作があったようにとらえた。

(学校教育課長兼小学校統合準備室長)

委員1の意見は、1次選考から入りたかったというのが一番かと思っている。

数が多い場合は事前に選ぶ程度の説明しかしていなかった。今後、同様な案件があれば、1次選考から入っていただけるようにしたい。

(委員4)

1次選考で選考基準を出したのはイメージ操作ではないか。

(学校教育課長兼小学校統合準備室長)

特定の作品を選ばせるために出したわけではないということをご理解
いただきたい。

～ 事務局から押水・志桜小学校の校歌について報告（資料なし） ～

(学校教育課小学校統合準備室次長)

町にゆかりがある方として、本町の子浦出身で、町観光大使の寺島拓篤
(てらしま たくま)さんに、校歌制作のお願いをし承諾いただいた。

寺島さんは、現在、東京で声優や歌手として幅広く活動するとともに、
来年秋に開催される国民文化祭(いしかわ百万石文化祭 2023)のアンバ
サダーにも就任されている。

作詞・作曲をするにあたり、児童が歌いやすく、ピアノなどで弾きやす
いもの。学校周辺の自然や地名・歴史などの情景を歌詞に取り入れてもら
うように依頼している。

完成は、令和6年6月を目途に寺島さんが所属している株式会社アクセ
ルワンと契約を交わした。

以上

第7回（令和4年度第4回）宝達志水町小学校統合準備委員会 次第

日時：令和4年12月21日（水） 午後7時00分

場所：さくらドーム21 2階 視聴覚室

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議 事
 - （1）校章デザイン最優秀賞作品の報告
 - （2）その他
- 4 閉 会

校章デザイン最優秀賞作品の報告

- 1 募集期間 令和4年8月1日～9月30日
- 2 募集結果
(1) 押水小学校 120作品
(2) 志桜小学校 66作品
- 3 選考経過
(1) 1次選考(10月3日) 小学校長により、各校10候補に絞り込み
(2) 2次選考(10月26日) 総務部会により、各校5候補に絞り込み
(3) 最終選考(11月18日) 校章選定会議において、最優秀作品を決定

◆押水小学校校章デザイン

【最優秀賞】



【デザインの趣旨】

統合の3校の数で宝達志水町の木「ブナ」の若葉を配したものに、押水の「水」を澄んだ気持ちで、大きく成長していく押水小学校の児童の姿を3本の水紋で表しました。

地域の人からも親しみをもって愛されるよう「押水」の文字を配した校章にしています。

和歌山県田辺市 北野 公一(きたの こういち)さん

◆志桜小学校校章デザイン

【最優秀賞】



【デザインの趣旨】

志桜小学校の頭文字「S」と学校周辺に咲き誇る「さくら」の花をモチーフに、豊かな自然に抱かれた小学校「小」の文字を表し、統合する2校の貴重な歴史や伝統・勉学・スポーツ・文化のあらゆる情報交流の絆と魅力発信をイメージしています。

温かい愛情に包まれ、「SHIO」の英字表記は、児童たちが将来国際的に活動・活躍し、大きな夢や希望を目標に更なる飛翔・発展・向上する明るい元気な活気にあふれる「志桜小学校」の輝かしい未来像をアピールしています。

群馬県高崎市 井口 やすひさ(いぐち やすひさ)さん